

「愛知県港湾物流ビジョン（案）」に対する御意見の概要と県・名古屋港管理組合の考え方

番号	頁数	意見概要	県・名古屋港管理組合の考え方
1	全体	中部地方の重要性を訴えるために作成したと考えるが、「愛知県港湾物流ビジョン」といったタイトルを含め、インパクトのあるものとしたほうがよいのではないかと考えます。また、例えば、「発展・躍進・世界一の港を目指す」などキャッチコピーもあったほうがよいのではないのでしょうか。資料全体にわたり衣浦港の重要性が見えるものとしていただきたい。	本ビジョンは、まずは県内港湾のつながりと目指すべき方向性を示すことに主眼をおいており、今後の展開においては中部地方の重要性、衣浦港の重要性をより強調していくよう検討します。
2	表紙	写真について、「電力」については、国内最大の石炭火力発電所が立地していることをアピールできるもの、「再生資源」については、イメージが湧くもの、「航空機産業」については、航空機とわかるものなど全体にアピールできる写真として、もっと写真を大きく配置した方がよいと考えます。	よりイメージの湧くよう一部修正しました。
3	1	衣浦港の「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定された区域内には、航空宇宙産業技術を扱う企業が設備を拡充している状況であり、また、本県の電力需要を支える石炭火力発電所が立地しているほか、近年、バイオマス発電の立地が進んでいるが記述がされていない。衣浦港についても、主要な取扱荷物と関係のある産業を記載していただきたい。	「高次加工型産業を中心とする工業港」、「高度技術産業拠点の形成が期待」などの記述により、衣浦港の特色、重要性を示しておりますが、さらなる表現として「中部圏のエネルギー拠点!!」を追記しました。
4	2	サプライチェーンの図において、課題がもっと明確にわかるような資料としていただきたい。	特定のテーマについて、調査により把握できたサプライチェーンの実態を抽象化したものであり、港湾物流に係る全ての課題を網羅しているわけではありません。さらなる表現については、今後の展開において検討します。
5	3	企業の再配置による視点をもっと記載していただきたい。再配置により効率化が図られると考えている。	「ふ頭機能の再編・効率化」として示しております。
6	3	名古屋港の機能確保・強化のためには、継続的な浚渫が不可欠であり、逼迫する土砂処分場を新たに確保するために、現在、中部国際空港沖を候補地として環境影響評価の手続きが進められているところです。したがって、これらの状況を踏まえた、土砂処分場に係る記載の追加が必要ではないのでしょうか。	港湾機能の維持・強化において、土砂処分場の確保は不可欠であり、機能強化の方向性にその旨を記載しました。
7	4	2ページにあげられている港湾物流の課題に対して、対応する港湾物流機能強化施策をそれぞれ記載する必要があるのではないのでしょうか。	2ページは、特定のテーマについて、調査により把握できたサプライチェーンの実態を抽象化したものであり、港湾物流に係る全ての課題を網羅しているわけではありません。港湾物流機能強化施策については、方向性のもと、当面取り組む施策であることを明記するとともに、一部施策について追記しました。
8	4	衣浦港と中部国際空港を強化する陸上輸送網として結んでいただきたい。衣浦港に集積している自動車産業、碧南臨海部の多くの会社、それらをうたってほしい。	強化する陸上の輸送網については、港湾間、産業集積地間、港湾産業集積地間のつながりを示しています。それぞれのつながりが強化されることで、全体のネットワーク強化を目指します。衣浦港周辺の自動車産業集積円を拡大し、航空機産業集積円を追記しました。
9	4	広域的視点として、三河港の背後圏となっている浜松・湖西が入っていない。高級農産物を船で輸出する拠点があってもいいのでは。	三河港の背後圏となる湖西地方への自動車産業集積円を拡大しました。機能強化の方向性に県内農産品の輸出環境の強化を追記しました。
10	5	わかりやすく伝えるため、投資額に対して、どれだけリターンがあるのか費用対効果の記載が必要と考えます。雇用の増、企業進出、日本経済への効果などの視点でアピールできる資料としていただきたい。	さらなる表現については、今後の展開において検討します。